

笑顔いっぱい 阿村っ子

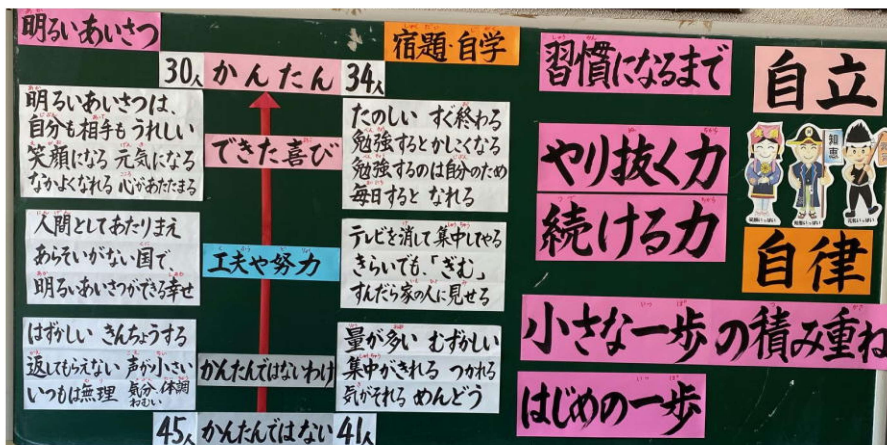


上天草市立阿村小学校
学校だより
第15号
R3.10.19（火）
文責 坂本和子

10月の全校集会

火曜日の朝活動は、集会活動です。校長講話を中心とする全校集会と、委員会の発表を行う児童集会の2種類があります。全校集会は月に1回の計画です。概ね月の大きな行事に関連させた年間計画に従って行っていきますが、今年、全校集会で話をすることに当たって特に気をつけているのは、「グランドデザインとの関連」と、「PDCA（計画－実行－評価－改善）サイクル」を子供たちが意識できるようにすることです。10/5（火）の全校集会前には、下枠のように子供たちに尋ね、子供たちの考えを整理しておきました。今月まで、用心して、集会活動はオンラインで行います。

明るいあいさつをすることや宿題をすることは簡単ですか。



「あいさつ」も、「宿題・自学」も、子供たちは、やらなければならない訳はわかっています。頑張ろうとしています。しかし、どちらも「簡単ではない」と答えた子供たちの方が多いという結果でした。常にできているわけ

ではないことは、子供たち自身分かっているようです。また、することは難しいと考えているようです。そこで特に次の考えを紹介しました。

争いが無い国で、明るい挨拶・勉強ができる幸せ。だから、することは簡単。（6年 さん）



挨拶することは、人間として当たり前。宿題や自学は、嫌でも義務。（5年 さん）

挨拶は毎日やっていて、習慣になっています。宿題・自学も、毎日続けられています。（3年 さん）



今、世界には勉強どころではない、食べるものがない、住む家がないという子供たちが大勢います。社会や国語の学習で、日本にもそういう時代があったことを学習した時期でもあり、大切な気付きだと思いました。また、人として当たり前、という考えにも同感です。さらに、習慣になるまで頑張ることが大切だと、私も強く思います。

「めんどくさい」
熊本市立城東小
5年
ぼくがめんどくさいと言ったらめんどくさいのをやるのが人間やりたくなくてもやるのが人間おばあちゃんが言った
熊本日日新聞 たから箱より

習慣になったその時が「自立」と言えます。そのために、小さな一歩を積み重ね、その中で「やり抜く力」「続ける力」を身に付けていきましょう、と話しました。

左の詩は、3/2付の熊日に掲載されてました。さんの考えを聞いて、思い出しました。



10月の生活目標は、「最後まで集中して授業に取り組もう」と決まりました。企画委員会が全校集会の内容にも触れ、決定してくれたということで嬉しいです。

裏面もあります

「粘り強くやり抜く子ども」「考え、行動する子ども」「思いに気付き、協働する子ども」

10/7(木)～8(金)は、学校外や校内で、学校教育目標に深く関わる行事や取組が行われた日でした。



5年生 集団宿泊教室

「自立する」「協力する」「自然に親しむ」を主な目標とする集団宿泊教室は、本校の教育目標達成のための大切な行事です。天草青年の家の方々と共に感染防止対策を徹底し、無事に1泊2日の集団宿泊教室を実施することができました。

5年生の子供たちは、目的意識をもち、充実した学びの2日間を過ごしました。この学びをこれからの生活に生かしてくれることと期待しています。

1日目



2日目



西目海水浴場



朝の集い
・チクサクコール



しめ縄づくり・御幣づくり見学・体験

5年生が集団宿泊教室に行っている間、阿村小ではしめ縄づくりと御幣づくりの見学・体験をさせていただきました。阿村の繁栄を願う昔からの行事を見ること・体験することができ、子供たちにとって貴重な時間となりました。

10/7 しめ縄づくり(阿村神社)

1、2年生が見学させていただきました。初めてしめ縄づくりを見学した子供たちは、「これは何ですか?」「どうして水を付けるんですか?」等疑問に思うことばかりで、たくさん質問をしました。区長さん方は、一つ一つ丁寧に答えてくださり、「してみんなね。」と体験させてくださいました。みんな大喜びでした。作ったしめ縄は、大事に家に持ち帰りました。



10/8 御幣づくり

御幣づくりは阿村小のコミュニティルームでされましたので、5年以外は全学年見学することができました。区長さん方を囲んで質問攻めにし、たくさんのお話を教えて頂きながら御幣づくりにチャレンジしたのは1、2年生です。今年は、御幣は650作られたそうです。学校にも一ついただきました。



